

6 3 6 1 - 6 9 0

平成 1 8 年 7 月 1 4 日

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

病害虫防除情報第 3 号

セジロウンカ・トビイロウンカの発生状況についてお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

1. 作物名 普通期水稲

2. 病害虫名 セジロウンカ・トビイロウンカ

3. 発生状況

1) 本圃における発生状況

(1) 7 月中旬の巡回調査におけるセジロウンカの発生面積率 92.9% (平年値 73.2%)
は平年より多である。

(2) 7 月中旬の巡回調査におけるトビイロウンカの発生面積率 14.3% (平年値 1.9%)
は平年より多である。

2) 飛来状況

(1) 県内 4 箇所に設置した予察灯へのセジロウンカ誘殺数 (6 月 6 半旬 ~ 7 月 2 半旬) は、
都城、国富で平年を大きく上回った。

(2) トビイロウンカ誘殺数 (6 月 6 半旬 ~ 7 月 2 半旬) も平年を大きく上回り、都城、国富、
佐土原では過去 1 0 年で最も多い。

4. 防除上の注意

1) 7 月 5 ~ 6 日に飛来したセジロウンカ、トビイロウンカの、第 1 世代 (飛来次
世代) 幼虫の防除適期は 7 月 4 ~ 5 半旬となるので、発生状況を確認して防除を
行う。

2) 飛来量が多いので、箱施薬剤を使用しているほ場でも発生に十分注意する。

3) 特にトビイロウンカは低密度でも、増殖率が高く坪枯れを引き起こすので、第 1 世
代幼虫の発生する 7 月中 ~ 下旬の密度を確認し、防除を徹底する。

4) 防除薬剤等その他の詳細については、宮崎県病害虫防除・肥料検査センター、各農
業改良普及センター等関係機関に照会すること。

5) ポジティブリスト制度の施行に伴い、農薬の使用については今まで以上に厳重な注
意を払い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努める。

連絡先

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター

櫛間義幸 加藤洋亮

: 0 9 8 5 - 7 3 - 6 6 7 0

Fax : 0 9 8 5 - 7 3 - 7 4 9 9

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

表1 7月中旬におけるウンカ類の発生面積率(%)

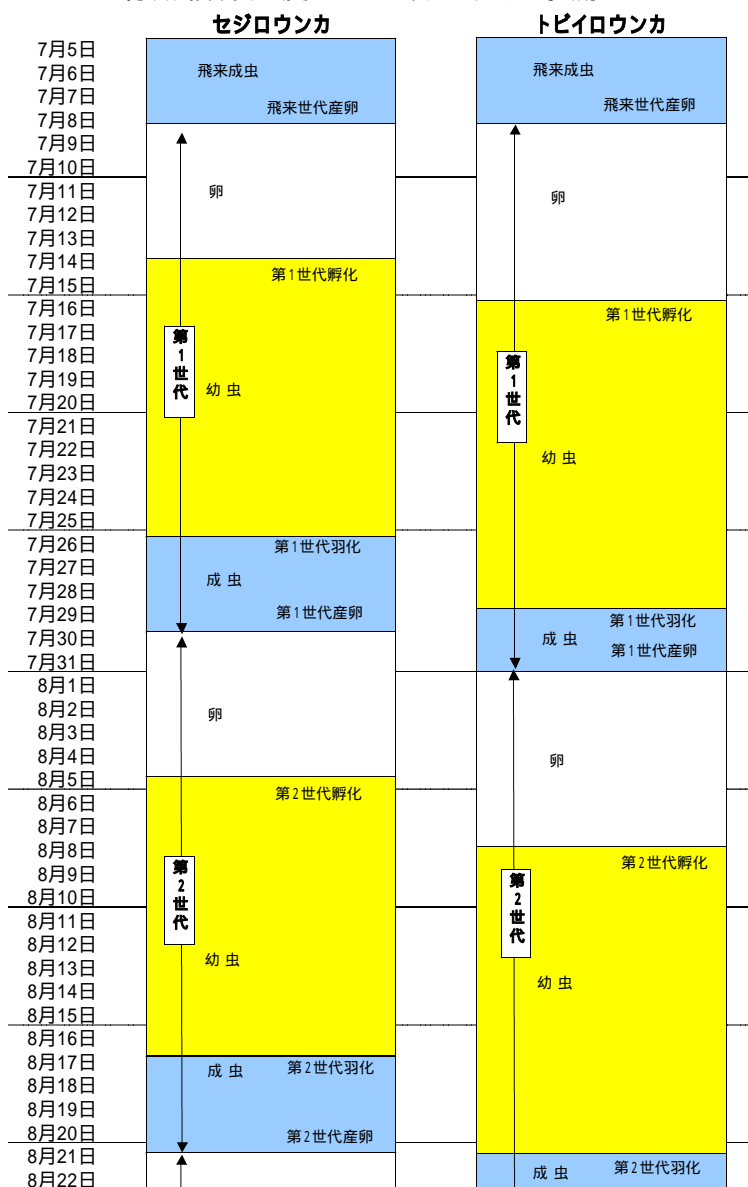
	本年	平年	前年
セジロウンカ	92.9	73.2	97.6
トビロウンカ	14.3	1.9	2.4

(7/10~14調査)

表2 予察灯における誘殺数(6月6半旬~7月2半旬合計)

	佐土原(農試)		国富		都城		延岡	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
セジロウンカ	244	280	1,113	524	6,154	558	104	129
トビロウンカ	10	1.8	12	2.1	68	2.6	1	1.8

有効積算温度による発生経過予測



7月5日の飛来虫
アメダス平年値
(都城)より算出。